

広報

のあさひ

No. 203

48

10



《父ちゃんがんばれ！》

天高く馬肥ゆる秋、読書の秋、スポーツの秋でもあります。

そして、猫の手も借りたいような収穫作業に追われる毎日です。冬もかけ足でやって来ようとしています。

そんな秋の一日、宮宿小学校では恒例の

かぼちゃ運動会が開かれました。

バトンがわりにかぼちゃを使っただけの子どもたちのリレー、かあちゃんたちの綱引き、父ちゃんたちのタバコ火つけ競争など、親子一体となった楽しい一日をすごしました。

＜写真＝父ちゃんたちのたばこ火つけ競争＞

明日の郷土を考える

しあわせな生活を求めて

[illegible]

出稼者数

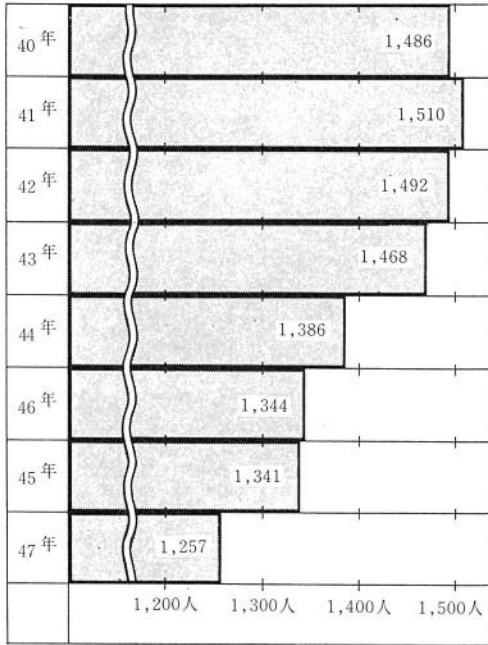
まずはじめに、朝日町における
出稼ぎの現状を見てみたいと思ひ
ます。

昭和四十八年一月現在の「出稼調査」の結果によりますと、出稼している人の数は、全部で千二百五十七名となっています。

これは、町の人口の一〇・二八割に当たる数字であり、十五歳から六十歳までの稼働人口の約二割の人たちが出稼ぎしていることになります。

過去八年間の出稼者の推移を見てみますと、第一図でもわかるように出稼者の数は年々少なくなつ

1 図 出稼者の推移調べ (出稼調査より)



ています。最近でもっとも出稼者が多かったのは昭和四十一年の千

五百十名です。それ以後は年々減りつづけており、昨年は千二百五十七名と、最高時から二百五十三名も少なくなっています。

とくに最近、企業の誘致がすすんだこともあって、さらに出稼ぎする人の数は減って行くことが予想されます。

しかし、出稼ぎする人が減りつ

【出稼ぎのグループ代表者
との話し合いも行なわれ
た】

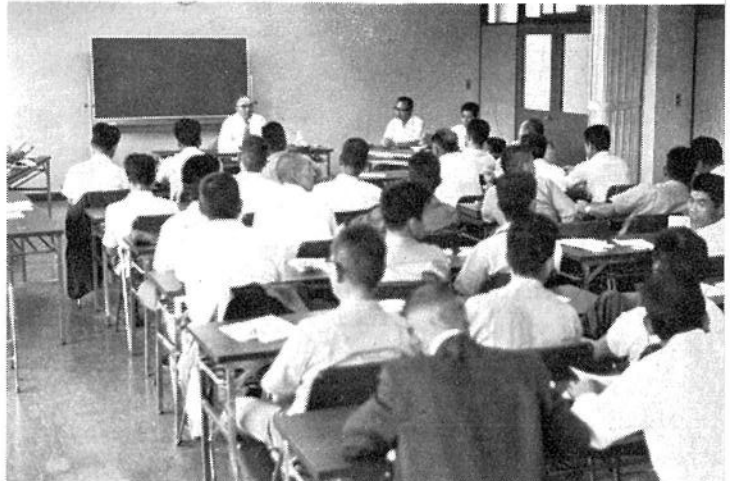
つある、と言つても、いぜんとして千二百名をこえる人たちが出稼ぎしておりま
す。これからの町づくりを
すすめる上でも、農工一体
化のためにも、出稼問題を
改めて考えてみる必要がありそ
うです。

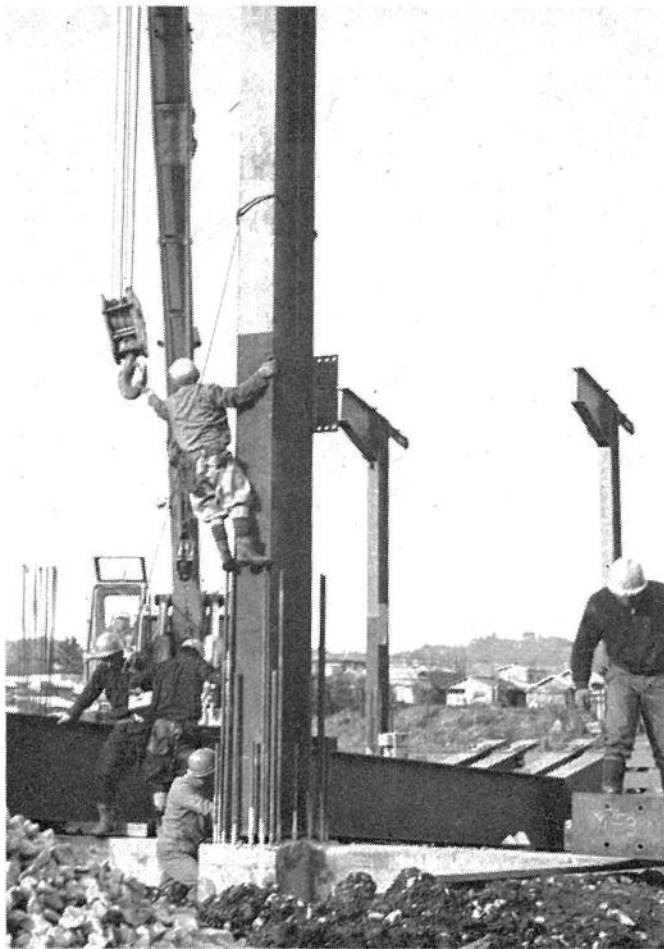
多い高齢者の
出稼ぎ

ところで、出稼ぎの実態はどうなっているのだろうか。もう少しその辺を探ってみることにします。まず、どんな人たちが出稼ぎしているのかということです。下表にもありますが、農家の経営規模をみますと、〇・五から一畝が三・九・五割、一から二畝が四二割、二畝以上が二・四割となっています。

表 1 經營規模別出稼者数

經營規模	0.5 未満	0.5 ~ 1 ha	1 ~ 2 ha	2 ~ 3 ha	3 ha 以上
出稼者	人 197	人 486	人 517	人 30	—
割合	% 16.01	% 39.51	% 42.03	% 2.45	—
總家數	戸 440	戸 767	戸 803	戸 50	戸 6





(今すぐ出稼ぎをなくせないとするならば)
より安全な職場を選びたいもの……

表2 年齢別の出稼ぎ者数

年 齢	出稼者数	割 合	備 考
～20歳まで	40人	3.18%	
21～30歳	227人	18.06	
31～40歳	321人	25.54	
41～50歳	450人	35.80	} 53.22%
51歳以上	219人	17.42	
合 計	1,257人	100%	

これを見ますと、あるていど経営規模の大きい農家あるいは極端に小さい農家の出稼ぎが少なく、朝日町では中位とみられる農家の出稼ぎが目立って多くなっています。さらに、どんな地位にある人が出稼ぎしているかでは、世帯主や長男が圧倒的に多く、全体の九三割を占めています。また、年齢別に見た場合どんな状況なのか、ですが第二表のようになっています。これによると、二十歳未満が三割、二十一歳から三十歳までは一

八割、三十一歳から四十歳までは二五・五割、四十一歳から五十歳までは三五・八割、五十歳以上が一七割となっています。ここで注目されるのは、比較的若い人、あるいは中年層の出稼者は少なく、中高年齢層といわれる四十歳以上の人たちが全体の半数以上をしめていることです。ということは、すでに企業に就職できない年齢層の人たちが出稼ぎしているということであり、反面、町内にはこうした中高年齢層の職場が少なすぎるとも言えそうです。

定着した

出稼ぎ層

ところで、出稼ぎしている人たちの世帯上の地位はどうなっているだろうかということ。です。

もっとも多いのは「世帯主」の六四割、ついで「長男」の二八割「世帯主の妻」二割の順になっています。つまり、出稼者のほとんどは世帯主と長男で占められているわけです。

また、出稼者の経験年数をみますと、十年以上というのが二九七名で二二・六割、五年から十年というのが六八八名で五四・七割となっておりです。

つまり、五年以上の出稼ぎ経験のある人で、全体の八割近くを占めているわけです。

こうした状態から、朝日町の出稼者の実態は、①中堅農家を中心にした出稼ぎであり②家庭の大黒柱である世帯主や長男がほとんどである。③それも、四十歳以上の高齢者が中心であり、④ほとんどが五年以上の出稼経験者だ、と言えるわけです。

危険な職場を

なぜなら

さて、「出稼ぎの実態」の最後には「出稼先の仕事はどうやって探すのか。どんな仕事に出稼ぎし

表3 出稼先と町内の賃金差比較

	基本賃金 (日勤22日)	残業手当 (30時間)	賞 与	小 計	夜 勤 手 当	合 計
神奈川A 自動車場	円 75,762	円 15,570	0	円 91,332	円 15,570	円 106,902
東京B 電機工場	円 74,830	円 17,410	0	円 92,240	円 17,420	円 109,660
町内A 企業	円 52,800	円 11,250	円 18,480	円 82,530	0	円 82,530

ているだろうか」といったことを取りあげてみようと思います。まず、どうやって仕事を探すかということですが、町の出稼ぎ調査によりまず①職業安定所を通じて、というのがもっとも多く七七・六五割、ついで②縁故関係でというのが一二・二五割、③世話を通じてが八・五一割の順になっています。

つまり、全体の約二割の人たちは縁故や世話人など、公的な機関を通じて出稼ぎしているというわけです。賃金の未払いやいろんな問題が

おきているのは、職業安定所を通じていない場合がほとんどだ、ということを見ると、この辺に大きな問題がありそうです。

つぎに、出稼先の仕事はどんな内容だろうかということですが、

第二回にもありますが、建設業が圧倒的に多く、全体の七五・三四割を占めています。

ついで金属機械一・二二割、その他の製造業といった順になります。この中で注目されるのは、

比較的危険の多い建設業や金属機械製造業といった業種が全体の八六割にもなっていることです。

なぜ、こうした危険な仕事に出稼ぎしなければならぬのか、それにはいろんな理由があるかと思

います。建設業などの場合は、比較的高度な技術は必要でなく、気安く働ける。それでいて賃金が高い、といったことが考えられます。

しかし、昨年トンネル工事に出稼ぎしていた三人の町民が、落盤事故で死亡するという悲しい事件もあったように「賃金さえ高ければよい」ということで果たしてよいのだろうか。もう一度考えてみたいものです。

賃金較差が

ありすぎる

以上のように、朝日町の出稼ぎの実態について紹介してきました。そして、その実態の中からも、

いくつかの問題が提起されるよう

です。ところで、実際に稼働されている人たちは、出稼ぎというものをどう考え、どんな悩みを持ちな



から出稼ぎされて

いるのか。

つぎに、何人かの方から登

場していただき、出稼ぎについて伺ってみようと思います。

はじめに、立木の阿部啓次郎さん(写真)をたずね話をお聞

し。毎年出かせぎされているよう

ですが、出稼ぎの状況などお聞かせください。

阿部「そうですね。十年以上も出稼ぎを続けていますが、行先は、ほとんど関東一円の雪の降らない

所です。仕事は建設業つまり土工ですが最近は何人かグループで行なっています。月に五十時間以上

の残業はあるし、農業の仕事から比べればかなりきつい仕事です」

出稼ぎしなくともよい生活をした……といった声も聞かれるが、どう言った考えをお持ちでしょうか。

月に一度は

帰れる出稼ぎを

つぎに、大舟木の佐藤弥喜致さん(写真)をたずねていろいろうかがってみました。

出稼ぎされているんなら悩みや苦勞などもあるかと思いますがどうお考えでしょうか。

佐藤「確かに出稼ぎによっていろんな問題が出ています。半年もの

間家を空けることは、残った家族に

対して精神的にも大きな負担をかけるし、子どもの教育にも

影響があると思います。それに部落の中堅である人のほとんどが

出稼ぎするわけで、消防や部落の維持にも大きな問題があります」



——部落の崩壊にもつながる、ということですが、出かせぎに対してどう考えていたらよいでしょうか……。

佐藤「やはり、ほとんどの人はできるだけ出稼ぎしないで生活したいと考えていると思うんです。

しかし今の状態では出稼ぎせざるを得ないんじゃないだろうか。町内にいても適当な仕事がないし

賃金の差がありすぎます。ただ、当分出稼ぎは止められないとして

も、いろんな方法があると思います。それは、できるだけ安全な職

場に行くことも大切ですが、月に一度は帰ってくることを考えるべきだと思

います。そうすれば家族の不安も少なくなるし、部落の問題も解決できると思うんです。自分

はそういう考えで時々帰っていますが、帰った時に部落常会を開くようにしてもらっています。」

——時々家に帰れるような出稼ぎを……ということですが、実際にはなかなか難しいんじゃない

でしょうか。佐藤「確かに、帰ってくるにしても金がかかり

ますし、容易ではないと思うんです。しかし、これからの出かせぎは月に一度ぐ

らい戻って来れるようなものにすべきではないだろうか。」

出稼共済に加入しましょう

- ◎掛金は6ヵ月間で500円です。
- ◎万一の場合に備え出稼者は全員加入しましょう。
- ◎手続きなどについては役場住民課へ。

本当に賃金は安いだろうか

ところで、いま阿部さんと佐藤さんから、出稼者の立場から、いろんな話をお聞きました。

その中でいろんな問題が出されましたが、賃金の較差といった問題が共通のものとしてあげられ

ました。しかし、本当に町内の賃金は安

すぎるのだろうか。実際にはどれぐらいの較差があるのだろうか。そう



(秋の収穫作業が終ると、人々は今年も又出稼ぎに発って行く……。本当に
出稼ぎしなければならぬのだろうか？)

みようと思います。
最近の従業員募集などで示された賃金にもとづいて、第三表のように比較表をつくってみました。
これを見ても確かに較差はあるようです。ただ、ここで気付くのは、出稼ぎ賃金は残業手当とか、夜勤手当といったように、それだけ余計に働くから賃金も多くする

といった性格をもっている、といえそうです。
この表にはありませんが、とくに土木工事などの場合は、月五時間の残業は常識的になっており高い賃金をもらうために、身体をすりへらして働いていると言えそうです。
更に考えなければならぬのは

出稼ぎはあくまでも出稼ぎだということ。何年、何十年と出稼ぎを続けてもボーナスは出ませんし、退職金もありません。そう言った老後の保障など、長い目で見た場合には、必ずしも出稼ぎの賃金が絶対高いとは言えないようです。
それに考えなければならぬのは、出稼ぎによって生まれてくるさまざまなマイナスの面です。
子供の教育がおろそかになったり、家族の精神的な苦勞も金では代えないものです。家の管理や農業経営がおろそかになります。部落の運営などもできなくなります。そういった様々なことを考えると、単に金が高いというだけで出稼ぎに頼っていてよいのだろうか、という疑問もできます。

決断を

すべからず

ところで、出稼所得と町内企業の所得差について、農工一体化という立場から、町の労務対策協議会々長の阿部宗一郎さんは次のように語っています。
阿部「町内に適当な仕事がないから、あるいは賃金が安すぎるから出稼ぎするんだ、といった声を聞きますが、もう少し認識を新たにしたいと思うんです。
というのは、町内にもいろんなよい職場ができていますし、賃金だ

ってあまり開きがなくなっています。

それに、出稼ぎ賃金の場合には残業手当が多く含まれている。つまり、うんと働くから賃金も高くなるというものです。

それから、出稼ぎは何十年続いても年金はつかないし、退職金もありません。出稼ぎによってマイナスになる事も多くあり、犠牲のわりには、むしろ安すぎる賃金といえるべきです。

それにもっとも考えねばならないのは、将来の生活設計をどうするかということ。一時しのぎの出稼ぎ所得から一日も早く逃がれて、将来の方針をどうするか。決断すべきときだと思ふんです。

農業専業で行くか、農工または農商・サービス業のような複合経営でいくか、いろいろあろうと思います。

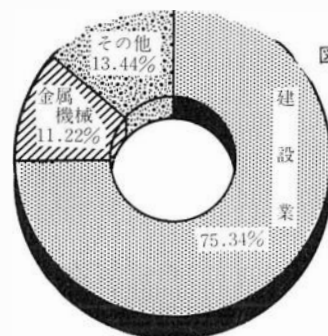
町内にも優秀な企業がどんどんできているので、単に出稼ぎを続けるというだけでなく、はっきりと将来の方針をきめ、町内企業に就職することもぜひ考えてほしいものです」

阿部さんは、賃金の差はあまりなくなっている。出稼賃金が高いというが、あるていど以上の分は過重労働に対する報酬にすぎないと語るのです。

そして、ただ出稼ぎを続けるといふのでなく、将来の方針について決断をすべきときではないかと

出稼先の職種調べ

図2



語っています。

出稼ぎは

やめられる

さて、最後に今まで出稼ぎをやって来られて、最近やめられた方の立場として、四の沢の清野馨さん、(写真)に登場していただき意見をうかがってみました。

——最近出かせぎを止められたというのですが、どういった考えからだったのか、お聞かせください。



清野「どう言っても理由といろいろあります。私も二十何年もの間出稼ぎを続けて来ましたが、早く何とかして

秋を彩る朝日町芸術文化祭

◎期日、11月1日～11月4日まで

◎会場、朝日町開発センター

◎ダンスパーティー

11月1日夜

◎作品展示会

11月2日～4日

美術、書道、写真、華道
文学、盆石、その他

◎日本舞踊発表

11月2日午後7:00

◎音楽発表会

11月3日午後1:00

◎演劇・民謡・発表会

11月3日午後7:00

◎茶道発表 実演

11月3日～4日

◎名画鑑賞会

11月4日夜

出稼しなくともよいように
たいと考えていました。出稼先で
覚えた技術をもとに、町の誘致企
業である松村の下請け的な仕事を
はじめたわけです。出稼収入の
ようには行きませんが、しかし、
やりかたによっては十分な収入は
あげられます。長男がりんご作り
をやっていることもあり、
今の仕事で出稼をしないで十分
にやって行けます。やはり、本
当に出稼をやめたいという気が
あれば、いろんな方法も生まれて
くると思うんです。」

清野さんは、本当に出稼をや
めようという気があれば、方法
はいくらでも考えられると言っ
ています。

「出稼は何も悪いことではな
い、沢山金が取れるし、出稼す
る本人も家族も出稼すること
を喜んでいて、といった声もあ
りますが……」

以上のように、朝日町における
出稼の実態を紹介し、何人かの
町民の方から登場してもらい「出

出稼ぎの

ない生活を

知れません。しかし、ほとん
どの出稼者は、あるいはその家族は
できれば出稼をしないで生活し
たいと願っていると思います。い
くら金が取れるといっても、家族
がバラバラに暮さなければなら
ないのでは、正常なことではない
です。やはり、今すぐ出稼を
やめられないとしても、はつきり
とした将来の見通しをもって、出
稼すべきではないだろうか」

清野さんは、出稼ぎは正常な姿
ではない、今すぐやめられないと
しても、はつきりとした将来の方
針をもって出稼すべきではない
か、と語っています。

「出稼」の問題について、いろいろ
意見を出していただきました。

出稼の実態の中では、年々そ
の数は少なくなっているが、出稼
者の内容はすっかり固定化し、老
齢化しつつあることが提起されま
した。しかも、比較的危険の多
い建設業が圧倒的に多く、賃金さ
え高ければ……といった考えが多
分にあることも明らかにされまし
た。

そして、立木の阿部さんからは
「出稼は仕事もきついし容易
ではないが、今当分はやめられな
いだろう。雪の降らない所で働け
る、賃金も高い、失業保険がもら
える、といった魅力もある。やは
り出稼をなくすためには、もつ
と町内の賃金を高くしなければな
らないだろう」と言った意見が
出されました。

また、大舟木の佐藤さんからは
「出稼はいろんな問題を生ん
でいる。家族の負担の増大、子供

の教育、部落の維持運営、消防な
どにも大きな影響が出ている。し
かし、今の状態では出稼を止め
るのは容易でない。できるだけ安
全な出稼を考える、月に一度は
家に帰って来れるような出稼を
すべきでないか。といった意見が
出されました。

さらに、常盤の阿部さんからは
企業の立場として「町内の賃金
も長い目で見れば決して安くはな
い。目先の賃金だけにとらわれず
将来の生活設計をはつきりと定め
る時にきているのではないか。一
といった意見が出されました。

そして、四の沢の清野さんか
らは「出稼は正常な姿ではない
だろう。本当に止めようという気
持があれば、いろんな方法も生ま
れてくる。もし、今すぐ止められ
ないとしても、はつきりした見通
しをもって出稼すべきではない
か。——といった意見がありまし
た。

以上の方々の、意見や考えなど
をまとめてみると、やはり、出稼
ぎのない生活をしたい……という
のが、ほとんどの人たちの願いで
あるように思われます。

ただ、出稼を止めたいと思っ
ても、町内に適当な職場がない。
賃金が安い、といった問題もあつ
て、今すぐ止めることはできない
というわけです。

それでは一体どうすればよいの
だろうか。みなさんからも出され
たように①より安全な出稼をする
こと。②将来の見通しをはつき
りとさせること。などが大切では
ないだろうか。

そのためには、必らず職業安定
所を通すこと。賃金だけにとらわ
れず安全な職場を選ぶこと。でき
たら時々家に帰るとか、手紙や電
話などで家族との連絡を密にする
こと。万一に備えて出稼共済には
必ず加入すること、といったこと
が考えられます。



8億円はどう使われたか

昭和47年度決算にみる

2,369万円をくり越す

九月の定例町議会は、さる九月二十七日に招集され、一般会計決算をはじめ、各会計の決算など原案どおり承認し、九月二十九日閉会しました。

そこで今月は、一般会計八億円の金はどう使われたのか、といったことを中心に、町の台所の様子を紹介してみようと思います。

更に減った

自己財源

昭和四十七年度の一般会計はつぎの図にもあるように才入総額八億七千二百七十七千円、才出総額七億八千三百五十八万七千円で二千三百六十九万円のくり越しとなりました。

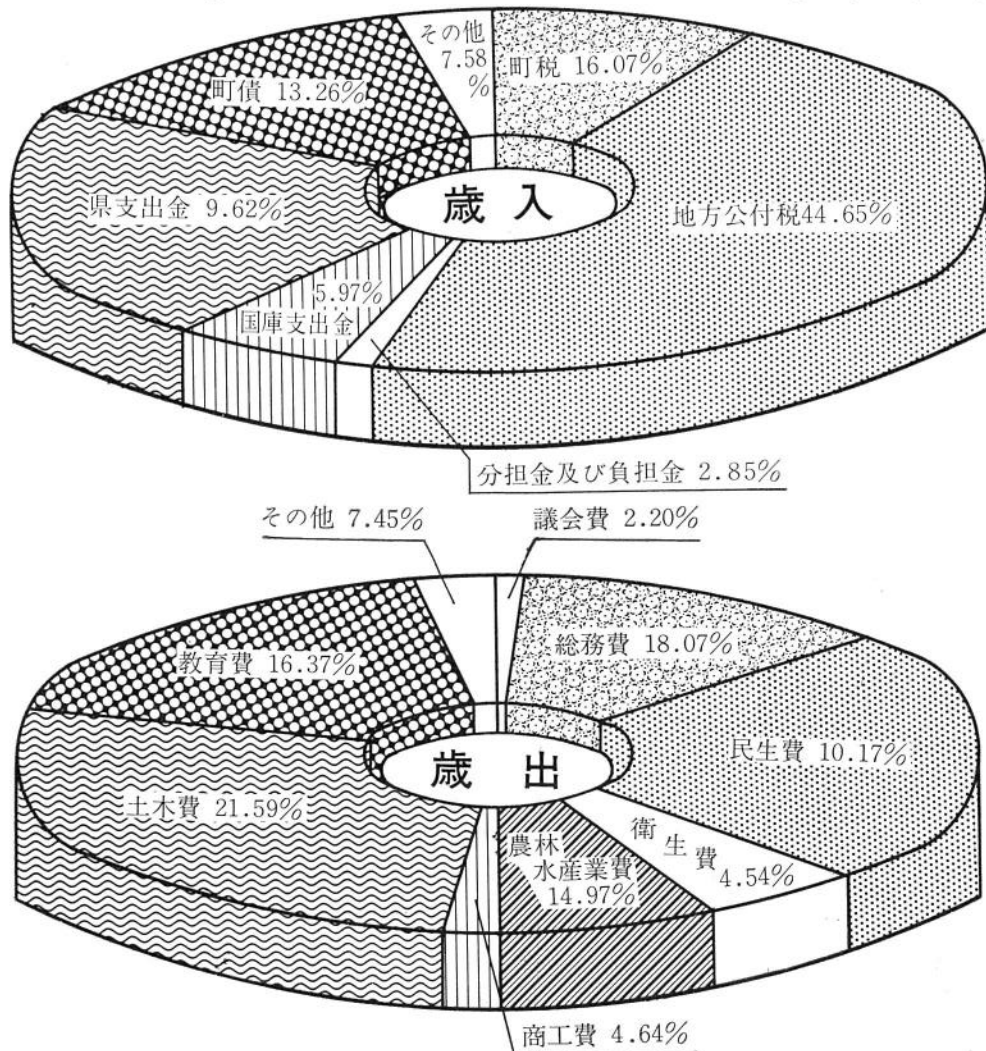
才入の中でもっとも大きなものは国からの地方交付税です。総額の四四・六五割と全体の半分近くをしめており、ついでは町税の一六・〇七割、町債の二三・二六割、県支出金の六・六二割の順になっています。

このうち、自己財源である町税の状況を見ますと、昨年の一八・八九割から、さらに大きく減少しているのが目立ちます。

反面、大きな事業が行なわれたこともあって、町の借入金である町債が一三・二一割にもなっており、注目されます。

三割自治などとよく言われてい

昭和四十七年度歳入歳出決算状況





【 道路交通網の整備には多額の金が使われた 】

ますが、現在はずでに一割自治と
いた状態になっており、地方財
政の確立が望まれるようです。
つきに、才入のおもな内容を紹
介したいと思います。

▽町税 総額一億二千九百七十六
万三千円、前年より九百二十五
万円多くなっています。

この中には、町民税、固定資産
税、軽自動車税、たばこ消費税、
電気ガス税といったものがありま
すが、固定資産税がもっとも多く
全体の六三割をしめています。

▽地方交付税 これは、町の面積
や人口、道路の延長など一定の基

準によって国から交付される金で
総額三億六千四百七十一万一千円(四
四・六五割)になっています。

金額の上では前年度より七千四
百七十二万六千円多くなりました
が、才入総額にしろる割合では〇
・一六割ほど少なくなっています

▽国庫支出金 いろんな事業を行
なうのにもなつて、補助金や負
担金、事務委託金のかたちで国か
らはいってくるお金です。

これの総額は、四千八百二十四
万三千余円となり、前年より一千
八百八十七万九千円多くなっていま
す。

▽県支出金 これも国庫支出金と
同じように、いろんな事業を行な
うのにもない負担金や補助金の
かたちで県からはいってくるお金
です。

総額七千七百六十八万九千余円
で、前年度より三百十五万円ほど
少なくなっています。少なくなつ
た理由としては開発センターの建
設が終り、その分の県からの支出
金が少なくなったことがあげられ
ます。

▽町債 これは、集落移転など過
疎対策のための事業、公民館建設
事業、道路改良事業などをすすめ

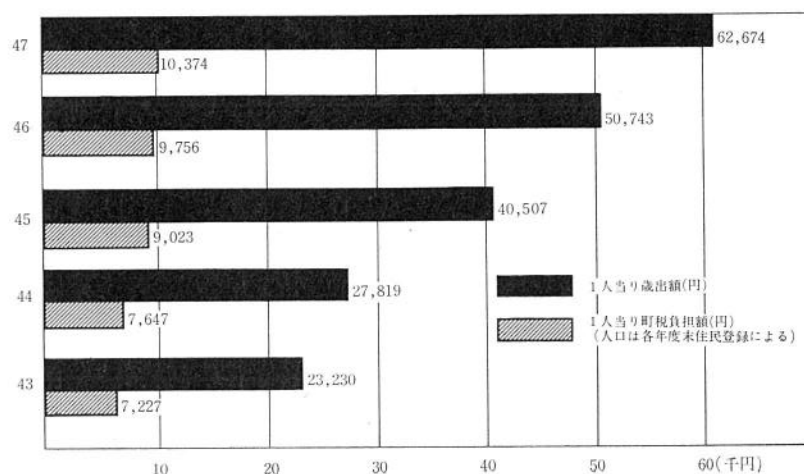
るに当って、町
が国などからお
金を借入れした
ものです。

総額は一億七
百十万円になつ
ており、前年度
より四千五百四
十万円多くなつ
ています。この
ように多くなつ
たのは、大きな
事業が次々と行
なわれたためで
すが、財政的に
も決して楽では
ないと言えそう
です。

▽その他 〓その
ほかの才入とし
ては、自動車の
重量税である地
方譲与税四百九
十六万七千円、
自動車取得税交
付金七百二十九
万六千円交通安全対策特別交付金
二十万三千円、分担金及び負担金
二千三百八十八万九千円、使用料及び手
数料五百十四万九千円、財産収入七
百三十九万一千余円、寄附金一千
百四十四万四千余円、繰越金一千
九十一万一千余円、諸収入一千三
百五十七万六千余円といったもの
があります。

このうち、もっとも額の大きい
分担金及び負担金は、町で行なう

昭和43年度～昭和47年度住民1人当りの町税負担額及び歳出額の推移



急速にすすむ

道路整備

事業にともなう受益者負担、地元
負担といったもので、前年度にく
らべ大幅に伸びております。

つきに、才入のおもな内容につ
いて紹介したいと思います。

才入の総額は、七億八千三百五
十八万七千五百二十一円となり、

前年度より一億五千六百七十六万三千余円多くなっています。

才出の中でとくに大きな事業としては、町道の改良事業、過疎対策事業、農村労働福祉センターの建設、和合地区公民館など、部落公民館の建設、北部地区農業構造改善事業、農免道路の建設、林道菅沼線の建設などといったものがあげられます。

▽議会費 総額一千七百二十五万余円になり、前年より三百六十三万ほど多くなっています。

これは、議員の報酬、職員給料など議会運営のための費用です。▽総務費 総額一億四千六百六十二万余円、前年より一千八百八十六万円ほど多くなっています。

これは、区長の報酬や特別職、一般職員の給料や手当などのほか交際費、消耗品、備品費など役場を維持運営するための経費がおもなものです。

また、広報費や町有財産の管理費、企画費、出張所の経費、徴税費、戸籍、選挙費、統計調査費などもふくまれています。

▽民生費 総額七千九百七十三万九千円、前年度より三千五百八十八万九千円増と大きく伸びました。

この民生費には、社会福祉費、国民年金費、児童福祉費、生活保護費、災害救助費がふくまれています。

主な事業費としては、老人に対する医療費の給付、ねたきり老人

のための特殊ベットの購入、北部保育所の建設、移動保育所の設置といったものがあります。

▽衛生費 総額三千五百六十四万円で、前年より二千余万円ほど少なくなっています。

少なくなった理由としては、病院への繰出金が少なくなったことがあげられます。

衛生費の主な事業としては、妊産婦乳児に対するミルクの支給、成人病の検診、病院、水道事業に対する補助、共立衛生組合への負担といったものがあります。

▽労働費 百二十二万五千円で、出稼者に送る新聞、町報代や出稼共済事務負担金などとなっています。

▽農林水産業費 総額一億一千七百三十六万一千余円、前年より七千四百二十五万二千円ほど少なくなっています。

この中には農業費、林業費、水産業費、開発センター総務費と四つの部門があります。

農業費の中には、農業委員会の費用、農業振興のための費用、基盤整備や農業構造改善事業の費用といったものがふくまれます。

主な事業としては、マイクロパスの購入、畜産増殖団地乳牛購入、農免道路の開設、農道の整備、北部地区農業構造改善事業といったものがあります。

林業費には林道菅沼線の開きく費、林業構造改善事業への補助、といったものがあります。

水産業費は、第一漁業協同組合

可決された

主な案件

▽昭和四十八年度朝日町一般会計補正予算（県知事選挙のための費用、中部保育所用地購入及び造成のための費用、中部地区農業構造改善のための費用、町道への敷砂利代、青年団事務室建設の費用など、支出増にともなう補正したもの）

▽同国保会計予算補正

（乳児、重度身心障害者などの医療費無料化にともない、給付費に不足を生じるため補正するもの）

▽同水道会計予算補正

（受託工事費の増にともない補正するもの）

▽土地開発基金条例の一部改正

に対する補助金がおもなものです。開発センター総務費には、センターの維持運営のための費用がふくまれています。

▽商工費 総額三千六百三十七万四千円、前年度より二千八百二十四万余円の増と大幅に伸びています。

これは農村労働福祉センター（町民体育館）建設の費用がふくまれているための伸びです。

そのほかには事業場設置奨励補助や塩湯ボーリングの費用など、商工・観光振興の費用がふくまれています。

について

▽二次構中部地区は場整備事業工事請負契約について

（四の沢地区、和合地区のは場整備工事について請負業者と契約するもの）

▽一ツ沢共同作業所建設工事の請負契約について

（集落移転にともない跡地利用のための共同作業所を建設するため、工事契約をするもの）

▽町営土地改良事業の経費の賦課徴収について

（中部地区は場整備にともなう経費の負担基準や徴収方法などをきめたもの）

▽町有財産の取得及び処分について

（中部保育所の敷地、および一ツ沢共同作業所の敷地を取得したものの、処分は、町有地および

▽土木費 総額一億六千九百二十四万八千円、前年の約三倍という大幅な増になっています。

このように大きく伸びた理由としては、広域による町道改良、過疎対策による町道改良が大幅にすすめられたことによるものです。

おもな事業費としては、町道の維持補修費四百四十余万円、グレイダー購入五百八十余万円、広域による道路改良など八千余万円、都市計画道路など国県道改良にともなう負担金五百余万円、古橋橋架替工事四百八十余万円、都市下水

町有名義の土地を売却したものの）

▽寄附採納について

（北部公民館、北部保育所、町民体育館など町の施設に対して寄附行為のあったものを採納したものの）

▽町教育委員会委員の選任について（任期満了による委員の改選で大沼の小林馨氏が再任された）

▽朝日町医療給付条例の制定について

（ねたきり老人や重度身心障害者および乳児に対する医療費を無料化にするもの）

▽昭和四十七年一般会計決算

▽同 国保特別会計決算

▽同 水道企業会計決算

▽同 病院企業会計決算

路工事費九百七十余万円、過疎対策のための西原団地造成の費用一千六百余万円などがあげられます。

▽消防費 総額二千三百四十二万余円、前年より一千三百三十四万余円も多くなっています。

▽教育費 総額一億二千八百三十一万一千余円、前年より二千九百九十七万余円多くなっています。

内容的には、教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費、保健体育費の部門にわかれてい

もっと郷土を見直そう

町内の企業視察から

ふるさとで

働こう

このほど、町内に就職を希望する中学生、高校生に父兄たちも参加し、町内の企業視察を行ないました。

最近になって町内にもいくつかの企業が誘致されているが、若年労働力が少なく、大きな悩みになっています。

そこで、「一人でも多く若い労働力を郷土に残す必要がある」といった気運がもたらがっており、今回の企業視察も「郷土のよさ、郷土にある企業のよさを見直してもらい、一人でも多く町内企業に就職してもらおう」と行なわれたものです。

視察には、左沢高朝日分校より十二名、西中、大谷中より十八名の生徒が参加しました。

企業視察に先だって、町長から「農工一体化の町づくりをすすめてきたが、ようやく町内にも多くの企業がはいってきて、みなさんの若い力を求めています。」

ぜひ町内に就職されて、町発展のためにもがんばって下さい」といったあいさつがありました。

「つくりを……と
る志藤町長」



（まるで修学旅行のバスの中のように子どもたちも楽しそうに語り合っていた）



「はじめて見る工場の内部に
しばしぼう然」



「これなら私も……と熱心
に見つめる」



(若い優秀な労働力を郷土に……説明する工場)
の方々のことばにも熱がこもる

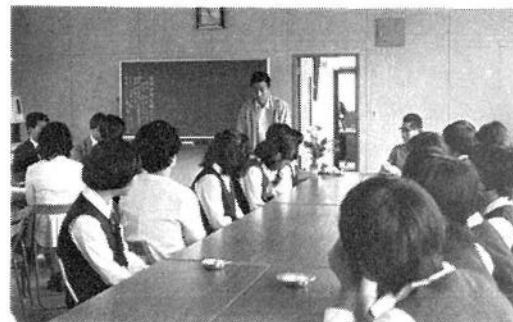
／ そのあと、マイクロパスに乗り朝日扶相、最上電子、松村製作所、アサヒタイル、丸吉、昭電社などを熱心に見学して廻りました「町内にこんな素晴らしい工場があるのは知らなかった」といった参加者の声も聞かれ、はじめて行なわれた企業視察も、まずまずの成果だったようです。

これからも、石井製作所、ニクニ機械工業が次々に操業に入りますが、こうした豊かな緑の町づくりへと変化・躍進する郷土を、もっとよく見直して、町の姿をええ、より良い郷土づくりに、みんなで努力したいものです。

(先輩たちのすばらしい技術に思わず、感嘆の声が出る……)



【流れ作業もスムーズに】



【若い労働力に期待する声は大きい】

【よく見てよい郷土
出発前にあいさつす



教育

レポート

出稼ぎを考える

子どもは淋しさをこらえている

今年も出稼ぎの季節がやってきました。もう年中行事の一つになっているようで、当初のような深刻なものは、影を薄めています。でも「出稼ぎ先での事故」というと、すぐ目を光らせます。子どもたちも大黒柱の不在に、何やら不安を覚えているのも事実です。

宮宿中学校生三百二十名中、両親でいくのは、いないようですが、百十七名の父親が出稼ぎに行く予定です。

そこで、出稼ぎ問題について、小、中学生に出席してもらって、話し合ってもらいました。働きに行く前に、家族団らんの中で、子どもたちに、幸せな家庭を築くために必要である理由を話し、問題が起らないような配慮をしていていただきたいものと思ひ、この座談会が、そのよい指針になれば、さいわいです。

なぜ出稼ぎしな

ければならないか

。 都会では年中仕事がある。朝日町では、冬期はないし、農業だけでは生活できない。

。 昔はこんなに行かなかった。

。 ワラ仕事をしてもらってあつたが、今はその必要もなく、機械化されてきた。農業のやり方もちがって、お金がかかる。

。 生活が豊かになり、文化生活

出席者

司会 菊地先生(上郷小学校長)

堀 綾子(大谷小)

白田浩一(宮宿小)

若月 立(西五百川小)

小林道雄(大谷小)

佐竹陽一(西五百川中)

大竹修一(宮宿中)

内訳

。 出稼ぎにいく 三名

。 今年からいかない一名

。 いっていない 二名

。 他に委員五名

出稼ぎすると

いろんな問題がある

。 父がいなくなると、もし火事などになったとき心細い。災害にあったとき困る。

【出稼のない生活と子どもたちは叫ぶ】

。 家の人が一人でもいなくなると淋しいし、明るかった家の中が暗くなる時がある。

おとうさん

西五百川小 四年生

また 出かせぎのときがきた

おかあさんは

だまって ポストにいれて

いる。

おとうさんは

ひげをそっている。

かおに 赤い血がにじんで

いる。

おとうさんは

だまって 千円くれた。

「正月に くるからな。」

といって 出ていった。

大黒柱がいなくなると、ぼく



ら中学生はしっかりしなければならぬ。父の代理をするときがでくる。

。 母や姉がたいへんだなあと思う反面、手伝いも多くなる。

。 今までは、酒のあとに面白い話をしてくれた父がいなくなる。

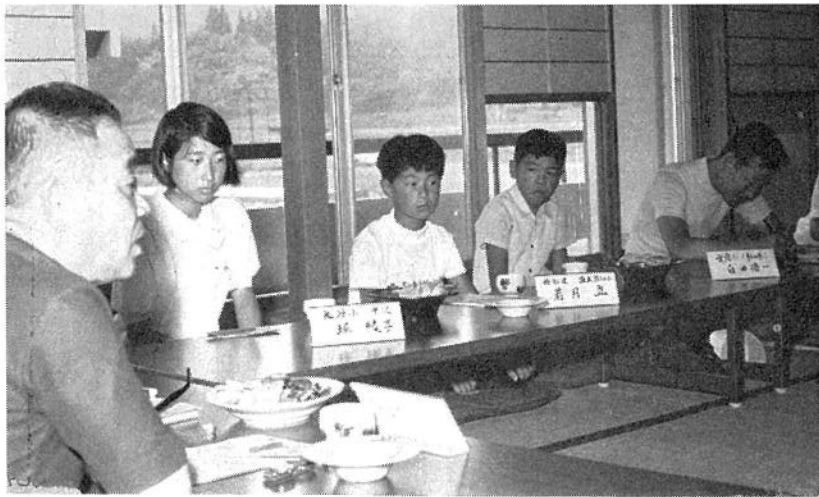
。 でも学校にいくと友だちによって解消されることもある。行く

時よりも、春になって帰って来る時の方が期待が大きい。

。 怒る人がいなくなるので、自由さまでくるのでいいと思う

。 でも、肥料の注文などするとき母が父の友人と相談しているの

を見ると、たいへんだなあと思



う。いなくなつて、はじめて、父の大黒柱的存在がわかる。去年は、母と祖母の二人の生活でしたが、祖母が東京に行ったので一人だけの時があった。兄が下宿して高校にいらつていて土曜日に一緒に帰ると「またうるさくなつた。」というものの、ほつとしていたようだった。大沼の場合は、残るのはおかあさんたちだけで、村を守らねばならない。

何かあると、すぐ電話で連絡するし、父からも時々くれる。

手紙の交換もしている。電話や手紙をもらうとうれしい。

私の父は、工場にはいったので、今年からいなくなつた。去年は、新聞で事故をみると、「ケガはしないか、からだだけ注意して働いてけると。書いたものであった。」

みんなが、行つているので、行くときの淋しさに、帰つて来るときの方に期待をもっているし、弟や妹など、小さい子どもは、土産を待っているようである。

出稼ぎがなくなる

とどうなる

昔よりも、お金がかかるので出稼ぎに行かなければならないもし、この出稼ぎができなくなつたら困つてくると思う。止めるということは、老人になつてだめになるか、出稼ぎの収入を補うものがあるという二つの理由だけだと思ふ。

年とつた父を見ると、早く大きくなつて、働きたいと思つている。

出稼ぎの収入は、この辺で働くより倍近くもいいので、現金収入が少なくなる。これに相当する収入がなければならぬと思う。

【町内で働いてほしい——と訴える子どもたち】

出稼ぎしない

生活はできないか

農業だけで暮せるのが、一番いいと思うが、農作物が安いし価格が安定していない。

ここでの農業には限界があるのではない。天候に左右されるし、勤め人の方が安定している。

朝日町でも、いろいろ工夫してやっている人がいる。多角経営なり、やり方で夢もある。

農業政策で格差はなくすといつては、減反など出して工業中心であつて、ぼくたちは田舎つべと思われ希望を持たない。

冬の雪でできない労働。基盤整理しての余った労働力、動力を入れて、そこでも労働力は余つてくる。出稼ぎがかわつて増してくるのではない。

工場誘致にしても、女の人数の働き口で、男の人数は少ないようだ。もっと男の人が働けるような工場を誘致して欲しい。

男の人の働く場という、力仕事で、土建関係になつてくる。

工場誘致の前に、農業で生計を立てられることを先に考える必要があると思う。農業をもう一度見直したい。

工場だけ建てても、文化がなくて、都会では、いろいろ

るな文化に接する機会がある。公園は

私たちの庭

きれいにしましよう

だから働く場として工場の必要は認めるが、そのために道路がよくならないといけない。その点では道路整備が先だ。

道路の整備によって、農産物が消費地に短時間で送ることが出来る。山形と三十分間位で結べる拡巾された道路であつて欲しい。

わたしたちが描く

未来像

白田 やつぱり、道路を広くしてもらいたい。

若月 交通の便をよくして、少しぐらい遠い所にも、働きにいけるようにしてもらいたい。

堀 農業を大切に、余力を工場で働けるようにしてもらいたい

佐竹 道路は、山形と朝日だけでなく、関東方面までつくり、農業と一緒に工業も発達して、製品をどんどん運べるように。



小林 東京のような発達した町にして、朝日町だけで消費する位の人口の多い町にすべきだ。

大竹 自然の資源を生かして、朝日岳を中心に、観光の町にして、農産物も消化されるように。

子どもたちの夢は、素晴らしいし、育てはぐんでき、みんな、出稼ぎのない町にするための方策を、みんな考え、実行していきたいものである。

でも現実には、出稼ぎに行く人々は、年々少なくなつていけるとはいえ、この町からだけで、千二、三百名の人がいき、それで生計を支えています。そういう人々の家庭生活に歪みの生じないような、深いいきずなをお願いすると共に、大きい展望をもちながら、一日も早く、出稼ぎしなくてもいい、豊かな町にしていきたいのです。

決算議会終る

一般質問も活発に

決算議会である九月定例町議会は、さる九月二十七日召集され、昭和四十七年度一般会計決算など十六の案件をそれぞれ承認可決して、九月二十九日に閉会しました。議会では、志藤町長から「農工

商一体の中で、公害のない豊かな町づくりをすすめている。道路網の整備、農業構造改善事業、過疎対策事業、企業誘致、公民館建設など順調にすすんでいる。また、町の総合開発計画の作成にも取り

つての教育の強化が必要になっているが、どう考えるか。④スキー場設置の要望があるが町ではどう対処するか。⑤勤労青年のための夜間高校の設置の要望があるが町ではどう考えるか。⑥構造改善をやった地区の町道改良等については、とくに配慮すべきと思うがどうか。⑦役場前の駐車場にバイク自転車置場等設置する考えはないか。⑧生鮮食料品店のゴミ処理について特別な配慮はできないか。⑨町長は従来政治的無党派をかげてきたが、今回の知事選で「新しい緑のふるさと会」の会長に就任しているが政治姿勢を問う。以上のような質問が行なわれ、それぞれ、町長や教育長などから回答が行なわれました。

寄附採納

◎北部公民館へ

待合室用長いす(一万円相当) 北部地区婦人会より

◎北部保育所へ

児童用雨がさ二十本(一万円相当) 大谷簡保ロータリークラブより

◎町民体育館へ

大時計一個(二万八千円) アサヒニクニKKより

水の需要が伸びる

—水道会計決算—

企業会計である水道事業会計決算は、収益三千七十万円、費用三千二百二十六万三千円で、欠損五十六万三千円となりました。収益の構成をみると、給水収益が五三割と前年より一三割も少なくなったのにくらべ、受託工事収益が前年より一五・三三割の増と、大きな伸びをみせています。

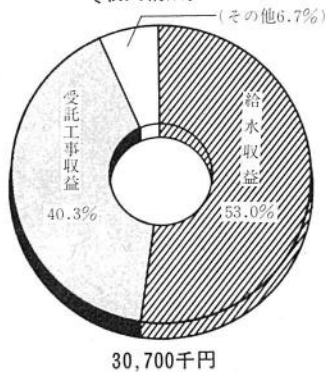
ると言われながら、水源が遠距離にあるためコストが高くなり、企業として採算がとれないといったこともあり、水資源を確保して行くことは、容易ではないようです。そうしたことから、町では水源地の調査などもすすめており、近く最上川の伏流水を確保するため雪谷地内で試験をするにしております。もし豊富な伏流水が得られればそこから取水して、水の需要の増に対処して行く考えです。

昭和47年度水道企業会計決算

〔費用構成〕



〔収入構成〕



構成では、維持管理費及び受託工事費が三割から五八・二割に大きく伸びたほか総額で一千万近くも増えたこともあって職員給与費、企業債利息、減価償却費の占める割合がそれぞれ前年より少なくなっています。全体的な状況としては、年々水の需要が伸びており、新しく水資源を確保することが必要になってきています。とくに、朝日町は水資源に恵まれてい



【監査委員からの報告も行なわれた】

部落民総参

加の運動会に

すんだ青空のもとでの小中学校の運動会が各地で行なわれています。

私は毎年、部落ぐるみの小学校の運動会をたいへん楽しみにしています。

しかしこのような運動会にもさまざまな変化があらわれてきています。

それは一つには、小学生の生徒が減ったことであり、それにとまって、小学校でも運動会のプログラムをつくるのに、非常に苦労しているようです。

二つには、最近企業誘致がすすんで会社勤めの人が多くなり、若者の参加が非常に少なくなり、また勤めている主婦の方にも出られない人が多くなっているという事です。



昔は、どこの小学校にも多くの子どもたちがいて、子どもたちの競技だけでも一日の運動会ができたのですが、今は非常にへって父兄の競技の方が多いくらいになっています。

私はそれはそれとして、部落民が多く参加できる運動会として、たいへんプラスの面を持っているものだと思います。

父や母や祖父母の一举一動に子どもたちが一生懸命になって声援をおくる姿はほんとうにほえましいものです。

私はそんなとき、ほんとうに部落民みんなが参加している運動会がほしいと思います。

町の農工一体化の政策のなかで企業に勤めるものは、家と会社の往復だけになり、となりの人々との会話がなくなるようになります。

企業の福利厚生面の充実、社員相互の連帯を深め、なくてはならないものですが、しかし反面において、そうした会社内部だけで満足された人間関係は家に帰ってからのつき合いを遠くさせます。

企業誘致と部落民連帯感のうすれは全く無関係ではないと思うのです。

そこで私は提案したい。スポーツの秋の一日を、会社も農家もすべて休んで、部落民

総参加の運動会を実施してほしい。

その日に、町内のすべての小学校が同時に運動会をするので

のど箱までみえるような大きな口をあけてのパン食い競争。口をとがらせてのたばこ吸い。年よりも楽しくまり入れ、そして何よりも、みんなで食べる手製の昼食のおいしさ。

健全なスポーツとほがらかな笑い。

(A生)

ご意見を

お寄せください

係では、町民の方々からのご意見をお待ちしています。

町政に対するご意見、提言、アイデアなどのほか、みなさんが毎日の生活のなかで感じられた小さなでき事など、なんでも結構です。

この欄を通して、町民の方々の対話ができるような活発なご意見をどしどしお寄せください

増え続ける医療給付費

—国保会計決算—

特別会計である、国民健康保険事業勘定の決算は、才入一億七千四百八十三千円、才出一億五千二百四十五万九千円、一千八百二十四千円の赤字となりました。

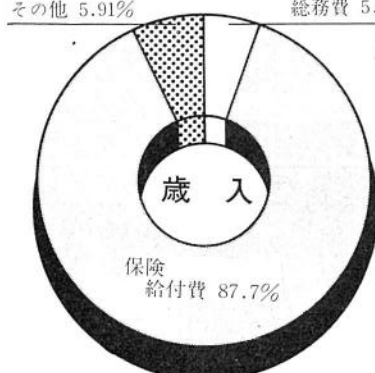
ですから、保険税を少しでも安くするために、早く医者にかかって早く治す。同じ病気で二軒も三軒もの医者にかからない、といったことにみんなが注意して、無駄な医療費を使わないようにして行くことが望まれます。

とくに、老人や乳児の医療費の無料化によって、今後更に給付費が増大することも予想されており、更に上手な治療のしかたが望まれます。

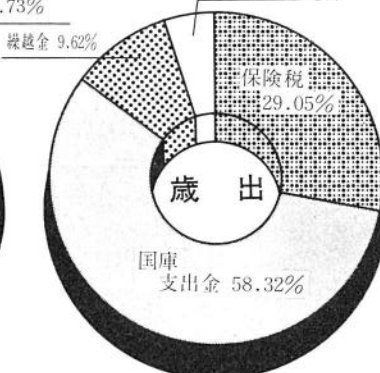
国への依存度が更に強くなったと言えそうです。

国民健康保険会計決算

総務費 5.73% 繰越金 9.62%



1億5,245万9千円



1億7,048万3千円

とくに、会計の総額では昨年より一千六百余万円増となり、年々保険給付費が増高してきています。

給付費がふえれば、みなさんから必然的に増えて行くこととなります。

人も車も思いやりを

交通安全弁論大会

さる九月十九日、開発センターで、小学生の交通安全弁論大会が行なわれました。

この弁論大会は、町と交通安全推進協議会が主催して開いている

もので、今年の二月に行なわれたものについて二回目になります。大会には、町内の小学校から選ばれた二十人が参加し、自分の経験から学んだ交通安全の大切さを訴えました。

弁論発表後、

寒河江警察署長から、「甲乙つけがたく、よく審査員は順位をつけたものだ」と話があったとおり、みなたいへんすばらしい弁論でしたが、審査員の苦心の末、入賞者が決定されました。

一位になった多田さんは、母の事故から、人間は、気がイライラしていたりしていると事故が起こりやすいから心や時間にゆとりをもち、必要をのべ、また運転手に酒を無理にすすめて自分だけが満足しているようなこともありこのような一人よがり事故を招くもとだと訴えました。

西郡駅伝大会

昨年について優勝

第二十回の西村山地区駅伝競争大会は、さる九月十二日、郡内各市町から七チームが参加して行なわれました。

寒河江市を八時一〇分にスタート、左沢宮宿大谷左沢川土居海味白岩谷地寒河江の九区間八一・五キロのコースに約五時間の熱戦を展開しました。その結果、朝日Aチームが、二位寒河江チームに六分近い大差をつけて、二年連続三度目の優勝を飾り、朝日Bチームも健闘して、第六位に入りました。

入賞者は次のとおりです。

- ① 山形のできごとから 宮宿小六年 多田三那子
- ② 運転手さんありがとう 和合小五年 菅井 修
- ③ 私たちの交通安全隊 宮宿小六年 鈴木 美佳
- ④ ぼくの体験 和合小六年 大竹 圭三
- ⑤ 交通安全は人も車も 大谷小五年 長岡 和之

交通安全にカーブミラー贈る

このほど、町内の三農協と山形県共済農協連合会より、十三のカーブミラーが贈られました。

またこの大会では区間新記録が六つでしたが、そのうちの三つ

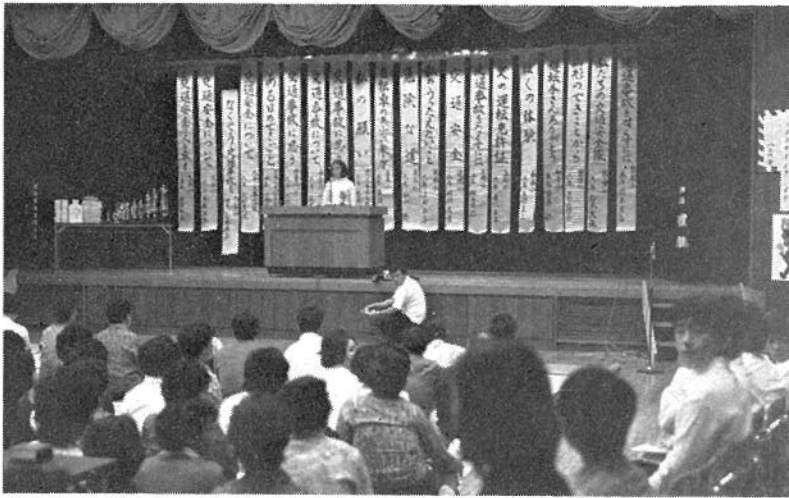
を一区、三区、八区でだす活躍ぶりを見せました。



【優勝旗を手に喜びの朝日チーム】

町職員の募集について

例年、町職員の募集を行ない採用試験を実施してきましたが、来年度は欠員の予定がないので、今年は職員募集を行なわないことになりましたのでお知らせします。



【熱弁をふるう子どもたち】



【金賞をうけ喜びの伊藤さん】

一位は伊藤さん

＝盛況の肉牛共進会＝

第十四回朝日町肉牛共進会は、さる九月二十八日、大谷農協広場で行なわれまし

た。この肉牛共進会は、朝日肉牛の銘柄を確保し、肉牛の肥育技術と資質の向上をはかって、地域畜産業の振興をはかろうとするもので、毎年開かれていたもので、朝七時、みごとに勢ぞろいした百十頭の肉牛のなかから、能中の伊藤次雄さんの黒メス牛が金賞一席に選ばれ、つづいて行なわれた肉牛市場で六十五万円で引き取られました。

肉牛市場では出場した百十頭のうち、九十一頭が売買され、最高で六十五万三千三百円、最低で三十五万六千円と、牛肉不足・物価高を反映して非常に高値になりました。

しかしそれに伴って素牛が二十万から三十万円近くになり、飼料代が値上がりするなど、必ずしも喜ぶことのできない状態のようです。

入賞牛肥育者氏名

◎金賞 伊藤次雄(能中) 白田千代志(大谷) 白田徳男(二頭)

それ負けるな

移動保育所の運動会

さる九月二十日、町民体育館で移動保育所の運動会が行なわれました。

この運動会は、白倉、大舟木、大暮山、大沼の移動保育所の子どもたちが集まって、いっしょに保育しているものの一つの行事として、はじめて行なわれたものです。運動会は、役場庁舎うらの「子供ひろば」で行なわれる予定でしたが、雨のため体育館で行なわれたものです。

応援は、保母と保母助手の方々だけでさびしい運動会でしたが、集まった二十名の園児たちは元気いっぱい、玉入れ、動物ゲームなどを楽しみました。

沼 白田幸三郎(大沼) 志藤富男(大谷) 大竹竹雄(和合) 伊藤林次郎(二頭・能中) 村山弁次郎(大谷) 鈴木健三郎(宮宿) 海野知芳(能中) 細谷隆(上郷)

肉牛市場の成績

出場頭数 一一〇頭
売買 九一頭
最高価格 六十五万三千三百円
最低 三十五万六千円
平均 五十二万四千九百円
販売総額 四千七百七十六万六千六百元



【体育館の中でのボール運び競争】

たばこは町内で
買いましょう
町の大きな財源になります

便利な電話

の使い方

新しい電話帳を お届けします



ことしから山形県版五十音別電話帳の発行期日が十月に変わりました。

新しい電話帳は今年八月十日現在のおなまえでのごとております。

八月十一日以降のおなまえは次期発行(四十九年十月)にのることになります。ご了承ください。

職業別電話帳は従来どおり三月発行です。

「でんわとでんぼう」

従来の五十音別電話帳に収録している利用案内と営業案内は新しく「でんわとでんぼう」として別冊で発行になり、新しい電話帳と同時に配布いたします。

なお、この「でんわとでんぼう」は隔年発行ですので大事にお使いください。

古い電話帳は 処分してください

新しい電話帳は十月中にお手もとにとどきます。

古い電話帳は間違い電話のもとですからめんどくさいでも処分してください。間違い電話は、相手は迷惑、こちらは料金ソンとなります。

まちの子どもに負けないぞ

へき地教育振興大会

さる九月二十七日、大舟木分校で、山形県へき地教育研究・振興大会が行なわれました。ことしの振興大会は、西村山地区が対象となっており、分校の部門で大舟木分校が選ばれたものです。

大舟木分校では、昨年より算数を中心として、少ない児童での効果的な学習のあり方を考え、また音楽、図工、体育など学級のわく

をはずして集团的学習を試みるなどまちの子どもに負けないへき地教育の研究に力を入れてきたものです。そのため、この大会には県内より百六十名近い先生が参加、部活動で駐車場や昼食の世話をするようになりました。

このように多くの先生方や父兄に見守られながらも、子どもたちは少しも気がねすることなく授業をうけ、算数では積極的に手を上げて発言し、体育では今までにないすばらしいリズム感あふれるダンス表現をみせるなど、先生方、父兄の好感をよんでいました。

なお、大舟木分校には現在十五名の生徒がおり、複式学級になっていますが、中心校に負けない立派な教育を続けたい、と分校の先生たちも熱意をもやしています。

【元気に学習する子どもたち】



老後をたのしく

西部高砂大学

さる九月二十日、西部公民館で高砂大学が開かれました。

この高砂大学は、六月から十月まで毎月一回開かれていたもので、音楽や研修をしたりするものです。今回は、鈴木秀芳先生から、「彼岸にちなんだ」という題で話をしていたが、午後からは谷地の大黒舞の一行が訪れて、大黒舞など二時間にわたって熱演が行なわれました。

また食生活改善委員の方々十七人が、日ごろ研究している成果を



みせようと、腕をふるって、昼食づくりの奉仕をし、集まった百四十人近いお年寄り、すばらしい

【高砂大学のひとコマ】

高齢者に

贈りもの

九月十五日は敬老の日でしたがその敬老の日になんて、ことし百歳になる本町の鈴木いしさんには県知事から記念品が贈られました。

また、米寿、喜寿の方をはじめ七十歳以上のお年寄りの方には、志藤町長から、それぞれ慰問金や記念品が贈られました。

陸上総合四位に入賞

県青年大会で活躍

さる九月七日から三日間、第二十二回山形県青年大会が、東根市村山市を会場にして行なわれました。

朝日町の青年も、スポーツ、文化の両部門に参加、写真の部で大井寿一さんが金賞、陸上総合で四位入賞するなど大活躍をしました。

とくに、陸上競技では男子十

二名、女子五名と少ない参加者でありながら、男子、女子とも総合で三位入賞するなど、健闘がたたえられます。

入賞者は次のとおりです。

写真

金賞 大井寿一

美術

⑤ 五十嵐恵子 ⑥ 佐藤敏行

陸上

◎ 総合 ④ 朝日町

◎ 男子総合 ③ 朝日町

◎ 女子総合 ③ 朝日町

◎ 男子千五百米 ④ 鈴木義昭

◎ 男子五千米 ② 阿部正昭 ④ 鈴木和

◎ 男子一五米 ② 渡辺勝

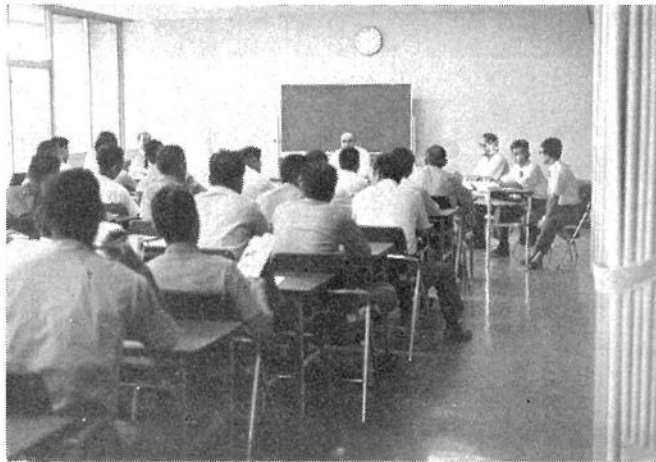
◎ スウェーデンリレー ⑥ 富樫清

話題を

提供ください

広報あさひは、より多くの町民の方から参加していただき、みんなで作る広報にしたい、き、みんなが楽しく読める広報にしたい考えです。

紙上で紹介したい近所の話題などありましたら、ぜひ係までご連絡ください。



出稼事故をなくそう

リーダー研修会開く

さる九月七日
出稼者グループ
リーダー研修会
が役場会議室で
行なわれました
この研修会は
出稼者援護対策
安全就労・労働
衛生などについ
て知識をふかめ
出稼事故をなく
そうとするもの
で、三年前から
行なわれている
ものです。

今回の研修会には、五人以上団
体で出稼をしている方々の代表者
四十人が集まりました。
研修会では、まず町長から、町
内の出稼の現状の説明と出稼共済
への加入奨励の話があったあと、
寒河江公共職業安定所の職員より
出稼就労前および帰郷後の手続き
について、説明があり、それに対
してリーダーから熱心な質問があ
りました。
朝日町でも、企業の誘致や構造
改善事業による所得の向上など、
出稼者をなくする対策をすすめて
います。

しかし、出稼者
の方々みんなが、
積極的にいろいろ
な制度を利用して
できるだけ不安な
く、安全に働いて
くることができ
るよう、残される
家族の方々とよく
話しあうなど、出
稼者自身の安全就
労への意識の向上
が、何よりものだ
まれます。

【より安全な出稼
ぎを——と活発な
話し合いが行なわれ
た代表者との話し
合い】

出稼ぎに

行かれる方へ

農家では、取り入れが済むと、
休む間もなく、出かせぎに行く人
が年々増えておりますが、ぜひ、
そのまゝに、将来の生活を保障す
る国民年金の届け出を忘れないよ
うにしましょう。

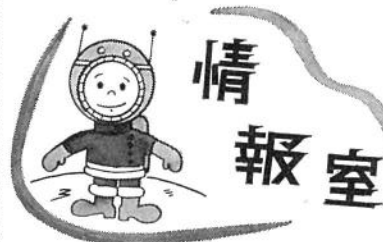
大きな会社で働く人は、厚生年
金に加入しますので、国民年金を
やめなければなりません。

そのときは、国民年金資格喪失
届を役場の住民係に提出してくだ
さい。

そして、出かせぎから帰ったら
国民年金にふたたび加入すること

道路情報

町道白倉
線八ツ沼一大
沼線、三中線
(八ツ沼～高
田間)では、
ただいま道路
工事を行ない



通行制限や片側通行などになっておりますが、雨の日が
多いため、非常に道路の状態が悪くなっております。
通行される方は十分注意してください。

求人情報

◎阿部自動車工場 男子整備工1名、年齢35歳位まで、
未経験の方でも可、女子事務員1名、年齢問わず、賞与
年2回(8月・12月)失保・労災諸手当あり、年1回旅
行のほか諸慰安会あり、給料その他くわしくは当工場に
お問い合わせください。(TEL 8-2505)

図書館情報

◎新刊図書がはいりました。利用してください。
続常識のウソ(石垣純二)華麗なる一族上中下(山崎豊
子)育児芸術(御木徳近)革命と生と死(池田大作)斎
藤茂吉全集第21・22巻 中・長距離のトレーニング(ア
ーサー・リディアード)豊かな時代の流通戦略(日経流
通新聞)谷崎潤一郎全集第11・12巻 出羽三山(戸川安
章)哀草果村里随筆第2巻 大系世界の美術4(古代地
海美術)先手非道の空手道(玉得博康)万有百科事典(1)
文学、山形市史上巻

土地の買占めに

注意しよう

最近、県内でも土地の買占めや
乱開発の問題が起きています。

朝日町ではあまりそうした問題
は起きておりませんが、今後は山
林の買占めなども出てくること
が心配されます。

になりますので、国民年金の再加
入の届をしてください。
小さな工場で、厚生年金のない
事業所で働く人は、国民年金の届
け出はいいませんが、出かせぎ中
の保険料を忘れず納付していくよ
うにしてください。

山林などの土地はあくまでも所
有者である個人のものです。そ
れも正しい土地利用がなされては
じめて、個人の幸せや地区・郷土
の発展につながるものです。
それが、単なる個人の利益のた
めに乱開発等行なわれれば大きな
問題になってきます。
そうしたことから土地利用対策
の一つとして、三畝以上の土地の
異動があった場合(町で買売する
場合を除く)県に報告しなければ
ならないことになりました。
町でも、よりよい土地利用をす
めるために、情報を集める仕事
を手がけることにしています。
一般町民の方の、ご協力をお願
いしたいものです。

「郵便局だより」
簡易保険は

郷土づくりに

手助けします

簡易保険は、大正五年十月一日に「簡易な手続で手軽にご利用いただける生命保険」として創設され、全国の郵便局でその取り扱いが開始されました。

以来五十有余年、皆様のあたにかい御支援、御利用をいただきながら全国での契約高も十七兆円を突破するという大事業に成長しました。

この郵便局の簡保は、皆様方の明るいくらしをお守りしながら、一方で、住宅、学校、プール、道路、下水道等を作る場合、安い利息で融資をして手助けをしています。皆様から加入していただいた保険は、皆様方の住みよい、明るい町づくりに大役立っているのです。

朝日町でも総額一億二千万円の融資をうけております。

最近の世相をみますと、公害をはじめ、交通事故など各種の災害多発による死傷者が増加の一途をたどっていますが、ご家族のだからかこうした災害にあつて、しあわせがいっぺんに破壊されたなどということのないようにしたいものです。

それには、「保障のあるくらし」を確立することですが、郵便局では「保障のあるくらし」に積極的にお手つだいいたします。

戸籍の窓

出生

48年9月1日～9月30日まで

部落	出生者氏名	父名	続柄
石須部	岸 道雄	正雄	長男
宇津野	長岡 妙子	重利	長女
西 町	大竹恵美子	賢一	長女
西 町	涌井 美穂	哲夫	二女
栄 町	崎村 弘美	岩雄	長女
西 町	峯田 浩樹	稔	長男
太郎三	多田 瑞穂	光文	長女

話の銘

北部保育所に

贈りもの

。このほど、石見先生（石見歯科医院）から、北部保育所の園児全員に、八十四本のすばらしい歯ブラシが贈られました。

石見先生は、「子供の健康は歯の健康からです」と、たびたび歯みがき用具を贈られているもので、北部保育所では、心か

ら感謝しております。

。また朝日ビニールさんから、大きな色とりどりのボール三十個が贈られました。

「子どもたちのために役にたてば」と贈ってくださったものですが、保育所ではさつそく運動会の際に使わせていただきましたが、子どものちよつとした遊びにも利用でき、たいへん喜んでおります。

社会福祉協に

現金寄贈

このほど、「めぐまれない人々のために使ってください」といって、大滝の佐藤勇作さんから

ら、町の社会福祉協議会に対して、現金五万円が寄贈されました。

ほんとうにありがとうございます。

大谷青年会からも

このほど、大谷青年会から、町社協に、現金三千元が贈られました。

これは九月二十三日、大谷青年会が主催して行ったチャリティショーの売り上げを寄贈下さったものです。

町では温かい贈りものに心から感謝しており、有効に使わせていただくことにしております

編集室より

☆秋の農繁期を迎え、お忙しい毎日かと存じます。町民の皆さんお元気でしょうか。広報二〇三号をお届けします。

☆今月は出稼ぎの問題を取りあげてみました。出稼ぎのない生活をしたいと思いが、今の状態ではどうにもならない、といった意見などありました。

☆ともあれ、今年もより安全な出稼ぎを——と願いたいものです。より豊かな町づくりのためにも、もう一度みんなで考えてみたいものです。



死亡

48年9月1日～9月30日まで
部落 死亡者氏名 年齢 世帯主
八ッ沼 宮本 律子 建一 長女
松程 佐竹加代子 悦美 長女

婚姻

48年9月1日～9月30日まで
舟渡 茂 山辺町
堀通 佐藤 いく
川通 松程
志藤 清正 阿部サダエ
助ノ巻 崎玉果
柴田 孝司 渡辺きよ子